

10 月のカンパラは雨季です。今年は午前中から昼過ぎまでは晴天が続き、午後には雷とともに雨が来る日が比較的多いようです。植物の成長にはちょうど良い天候です。

1. 大阪・関西万博ウガンダナショナルデー

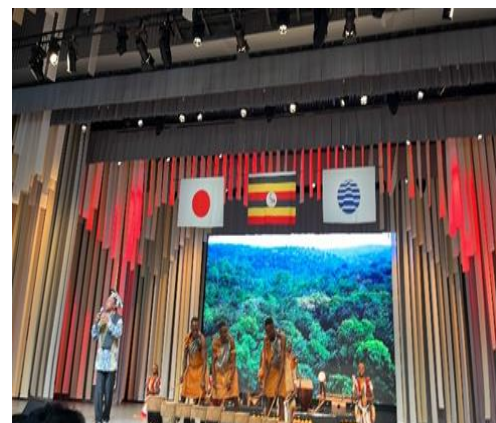
大阪・関西万博は閉幕しました。ウガンダはその最終盤 10 月 8 日にナショナルデーを実施しました。ウガンダの独立記念日は 10 月 9 日なので 1 日前の 8 日選ばれました。ウガンダからはナバンジャ首相が出席しました。筆者も首相に接伴し日本に帰国いたしました。

万博終盤は開幕当初の 2 倍の入場者があったと言います。会場も多くの入場者でごった返していました。

ナショナルデーは 11 時から EXPO ナショナルデーホールで式典が行われ、日本側からは、伊東良孝万博担当大臣が出席され祝辞を述べられました。ナバンジャ首相の挨拶の後カンパラより参加したダンスグループがウガンダの各地方の踊りを披露しました。会場は熱気に溢れ満員でした。



[ナバンジャ首相が挨拶]



[ウガンダのダンスを披露]

引き続き記念の昼食会が行われました。日本側からは伊東大臣を始め、政府、万博協会、地元大阪府の方々と日本各地から集まったウガンダに縁の深い皆様が出席されました。



[昼食会]

昼食会の後、ナバンジャ首相はウガンダの展示があるコモンズ A 館を訪問。挨拶したナバンジャ首相とカーフワ在京ウガンダ大使と一緒に踊り出すひと幕もありました。



[ウガンダ展示のゴリラ]



[ウガンダをプロモートする首相]

夕方には万博会場でウガンダ政府主催の返礼レセプションが開催されました。6ヶ月に及んだ大阪・関西万博。筆者は前回 1970 年の万博に両親に連れられて見に行ったおぼろげな記憶があります。今回は任国であるウガンダの首相に随行して訪問することができました。誠に貴重な機会でした。万博終盤と重なったのですが最も人出の多い時期であり多くの人にウガンダを紹介する機会ともなりました。ウガンダにとっても大変に良い万博であったといえます。

2027年には横浜で国際園芸博覧会が開催予定です。ウガンダはいち早く正式に参加を表明しています。日本の方々に再びウガンダに触れていただく良い機会となるでしょう。

2. ナバンジャ首相のJICA、経団連訪問、林内閣官房長官との会談

万博ナショナルデーの翌日ナバンジャ首相は新幹線で東京に移動。JICAにて田中明彦理事長、経団連にてアフリカ地域委員会大橋徹二委員長(コマツ特別顧問)、加留部淳委員長(豊田通商シニアエグゼクティブアドバイザー)ほか関係企業の皆さま、そして首相官邸で林官房長官(当時)との会談をこなされました。



[首相官邸にて林官房長官と]

[経団連訪問]



[JICA訪問]

林官房長官は2023年8月に外務大臣としてウガンダを訪問しています。長官からは東アフリカ地域の平和と安定に重要な役割を果たしているウガンダとの協力を一層深めていきたい旨、またアフリカ最大の難民受け入れ国であるウガンダの取り組みを引き続き後押ししていきたい旨述べられました。ナバンジャ首相からはこれまでの日本の支援に謝意が表明されるとともに日本からの更なる投資の拡大に期待するとの話がありました。林官房長官との会談に先立つ経団連訪問の際、ウガンダに関心を有する日本企業がウガンダでの取り組みについて具体的な説明を行いました。ナバンジャ首相の発言は日本経済界からの発言に大いに勇気づけられたことも背景にしていると思います。JICAの田中明彦理事長との間では実施中のインフラ整備プロジェクトなど今後の協力について具体的な意見交換が行われたところです。

以上3つの会談をこなされたナバンジャ首相はその夜の成田発のフライトで日本を後にされました。慌ただしい訪問でしたが、政治、経済、援助とバランス良くかつ充実した訪問になったと思います。

3. UNIDO東京事務所でのウガンダビジネスセミナー

ナバンジャ首相が帰国された翌日10月10日、ウガンダ首相一行に随行したウガンダ政府の関係者、ビジネスの方々も交えて国連工業開発機関（UNIDO）や在京ウガンダ大使館が主催してウガンダビジネスセミナーが開催されました。筆者もウガンダの現状についてプレゼンテーションをする機会を得ました。セミナーに先立ち、個別のビジネスマッチングも実施されウガンダに関心を有する日本企業が参加。セミナーには60名を超える参加者がありました。

セミナーに引き続く交流会では筆者も多くのビジネスの方々にご挨拶する機会となりました。中には早速ウガンダ・カンパラにてお目にかかるアレンジを行うことになった方もおられます。セミナー前日の経団連訪問ともあわせ東アフリカ地域、ウガンダへの日本企業の関心も確実に高まっていることを実感した次第です。



[セミナーの様子]

(以上)